

令和6年度
(2024年度)

事業報告書

社会福祉法人こころん

社会福祉法人こころん

令和6年度事業報告

I 事業の成果

昨年度当法人は創立 20 周年を迎えることが出来ました。これもひとえに日頃より支えて下さる多くの皆様のご協力のご支援によるものと、心より感謝申し上げます。これからも未来に向けて歩みを進められるよう、職員一同努力してまいります。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、感染症法上の行動制限が緩和され一年が過ぎましたが、引き続き事業所内感染対策を継続し、その上で対面面談やレクレーションでの外出、通年イベントを開催し地域交流を進めました。また、近隣福祉事業所との相互研修を通して連携し合える関係づくりを行い、地域のイベントにも積極的に参加し、地域との関係づくりにも努めました。

助成金事業としては「ふくしまプライド。」を活用して法人ホームページデザインをリニューアルし、SNSを通して各授産事業所の情報を随時発信し、イベント等の集客や施設の知名度アップにも役立ててことができました。

障害福祉サービス事業収入は、就労支援B型の工賃計算方式が変更になったことが功を奏して、前年度より 23,545 千円の増収となりました。また就職者数が例年並みの実績を維持できたことで、次年度の事業収入の維持につなげることができました。しかしその後の新規利用者の獲得に課題が残りましたので、継続して営業努力に努めます。

就労事業収入も昨年より 1,719 千円増となり着実に実績を伸ばすことが出来ました。近年健康志向が高まる中で、こころんファームの無農薬野菜やこだわりの餌で飼育された鶏卵など、安心安全なGAP認証商品（スナップエンドウ・玉葱・オクラ・菊芋・鶏卵）を求められるお客様の注文数が増えたことや新鮮野菜を使ったカフェメニューも好評で、直売所集客の大きな理由となりました。こころん工房は積極的にイベント販売に参加し、特に社内イベント時には限定菓子を販売し売上増に貢献しました。しかしイベント内容がマンネリ化しており集客に不安を感じることは否めず、新たな販路開拓も進まず課題が残ります。

なごみの家は、昨年に続き内職先の受注量が安定せず、利用者の作業や工賃確保も苦しい一年でしたが、利用者個々の適正に合わせた作業を整え安定した作業量確保に努めました。但し、利用者の高齢化は引き続き課題です。

生活部門のグループホームは利用者の高齢化に伴い、障害福祉サービスから介護保険への移行が大きな課題となっています。受け入れ先介護施設の選定も条件等により難しく、また個別性の高い障害福祉サービス利用ができなくなった後の利用者負担など、行政との調整が難しい状況ですが、引き続き関係各所と連携し合いながら進めてまいります。

支援部門である地域活動支援センターは、余暇活動や内職による作業訓練から利用者一人一人の目標に沿った支援プランを提供し、生活リズムを整え安定した通所が出来るようサポートしています。

相談支援事業は、専門相談員一人で 51 名の利用者を担当し、障害を持つ方が自立した社会生活を過ごせるように適切なサービス利用の計画を提供していますが、新規契約件数も増えて一人体制では厳しい状況が続いており、早急に人員配置の整備が重要となっています。

事業所名	地域活動支援センター		
利用定員	20名	利用登録者数	23名
事業の目的	利用者の能力及び適正に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた事業サービスを効率的かつ効果的に実施し、障がい者の福祉の増進を図ることを目的とする。		
令和6年度の目標	通所支援、日常生活支援、余暇活動を実施し、日中安心して過ごす居場所の提供を行う。また、内職等の軽作業を通して、活動する場、就労訓練をする場を提供し、個々の能力を見出し、就労のステップへと繋げていくことを目指す。運動の機会を設け、利用者の体力増進に努める。		
令和6年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・体験利用者を1名受け入れ、その後新規登録となった。支援学校実習生は1名受け入れ、直 B アセスメントの支援学校生も7名受け入れた。他部署(授産部門)から1名異動してきた。 ・こころや感謝祭やアート展などで地域交流を行なった。 ・利用者の運動不足解消のため、会田病院のリハビリ運動講座を依頼し、年間を通して定期的に運動する機会を設けた。 ・スタッフが大幅に刷新する中、事業を継続することができた。 		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通所の支援 目的に応じた利用日数を設定し、安定して通所できるよう支援した。 2. 日常生活支援 生活リズムを整える、服薬管理の指導などの支援をおこなった。 3. 運動療法 毎日ウェルネス体操を実施し、体力低下防止に努めた。会田病院のリハビリ運動講座を依頼し、定期的に実施した。 4. 余暇活動 貸し切りバスを利用し、施設旅行として猪苗代方面に出かけた。 5. 作業の定着 様々な種類の作業を準備し、安定的に作業へ参加できるよう支援した。 6. 就労支援 働く場の提供をした。意欲がある利用者の企業実習や他部署(授産部門)体験を支援した。 7. 作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・下請け作業 (株)栄伸 ランドセルの部品作成 (株)ウェーブクレスト 荷札の輪ゴム通し (株)村上 紙袋作成 ・販売 春・秋彼岸・お盆に、切り花を販売した。 		
課題に対する評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境整備:今年度は机を新しく購入した。また仕切り板(個人スペース用)としてホワイトボードを入手した。今後、棚やロッカーなども検討したい。 2. 依然就労目的の人と居場所目的の人が混在している。個別の声掛けを行なうことでそれぞれの目標を確認しながら進めている。 3. 今年度新規利用者は1名だった。スタッフの入れ替わりにより受入れ態勢が整わず、見学を断ったケースもあった。 		

事業所名	指定特定相談支援事業（生活支援センター ころん）		
利用定員(人)	なし	利用登録者数	51名
事業の目的	<p>障がい者等からの必要な相談に応じ適切な支援を行う。（基本相談支援） 障害福祉サービスを利用する時または調整を行いたい時にサービス等利用計画を作成し、計画通りにサービスが提供されているか一定の期間ごとまたは必要とする時にモニタリングを実施する等の支援を行う。（計画相談支援） それらを通し、本人の円滑な福祉サービスの利用や地域生活を促すとともに地域ニーズの掘り起こしを行う。</p>		
6年度の目標	<p>能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支え、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サービス等利用計画の作成・モニタリングの実施 ○適時、状況に合わせた訪問・同行支援 ○関係機関との連絡調整、ケース会議の開催・参加 ○研修会・相談支援専門員定例会・ワーキンググループへの参加 ○事業報酬加算対象となる人員配置を目指し、0.2の人員配置増加を目指す。 ○担当件数の微増 ○細やかな加算制度の活用 		
6年度の実績	<p>実施件数 <input type="checkbox"/>新規 2件 <input type="checkbox"/>更新 50件 <input type="checkbox"/>モニタリング 116件 <input type="checkbox"/>集中支援 1件 <input type="checkbox"/>契約終了 2件</p> <p>関係機関との連携及び地域課題への取組として以下に参加した。 (1) 基幹相談支援センター主催の相談支援定例会（全12回） (2) 各種研修会への参加（引きこもり支援、若年性認知症、野中式事例検討等）</p>		
事業内容	<p>特定相談支援として、障がい者自身が望む自立した社会生活を支えることを目的とし、抱える課題の解決を行い、本人に合った適切なサービス利用ができるよう計画相談を作成し、適切にサービス提供されているか、他に課題はないか定期的なモニタリングを行った。必要に応じて医療関係者、各福祉事業所、行政や専門機関と連携し会議実施や参加、連絡調整等を行った。また各種研修会に参加しスキル向上を目指した。</p>		
課題に対する評価	<p>報酬改定を見据え、他事業所では人員増加や、主任相談支援専門員の配置を行うなど事業収入増や支援内容の質向上を狙った人員配置が整備されてきており、年々格差が開いている状況にあり、喫緊の課題となってきた。</p> <p>令和6年度も相談支援専門員1名で対応することが難しいケースやキーパーソン（親を急に亡くした等）を失った方の地域生活を支える困難さに直面したケースが多く、人員増加だけでなく、より多くの関係機関とのネットワーク構築や相談員の技量の向上が必要であると感ずる。</p>		

令和6年度 事業報告書

事業所名	共同生活住居こころん あけぼの荘、こころんハウス			
利用定員（人）	あけぼの荘	16人（15人）	男性10人（9人）	女性6人（4人）
	こころんハウス	12人（10人）	男性6人（6人）	女性6人（4人）
事業の目的	<p>【共同生活援助】</p> <p>利用者が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、入浴、排泄及び食事等の支援、相談その他の日常生活上の支援を行う。また、必要に応じて移行支援（単身生活への移行、介護保険サービス事業所への移行）を行う。</p>			
令和6年年度の目標	<p>‘共同生活の場’ということ踏まえ、個々人がお互いを理解しあいながらよりよい生活を営めるように日常生活上の支援をする。</p> <p>① 室の空室を0室にする。</p> <p>② 単身生活希望者への移行支援(サテライト型住居を含む。)</p> <p>③ 避難訓練を事業所単独で実施する。</p>			
令和6年年度の実績		令和5年度	令和6年度	
	見学者	10名	6名	
	体験者	14名	13名	
	本入居者	1名	3名	
	退去者（入院・死亡含む）	1名	2名	
	入居率	86%/100% (24人/28人)	82%/100% (23人/28人)	
事業内容	<p>【生活支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者の生活相談・支援全般（金銭自己管理支援・服薬自己管理支援・生活指導・申請書類の補助、病院、役場、家族、関係機関との連絡調整、受診同行、通院介助、移行支援、入居者ミーティングの実施、他機関からの見学・入居相談・体験宿泊の対応、健康チェックの実施） <p>【防災訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> あけぼの荘 R6.10.18 R7.3.8 実施 こころんはうす R6.10.22 R7.3.8 実施 <p>【余暇活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> R6.4.13 グループホーム合同 会津旅行 R6.7.20 " 暑気払い 焼肉きんぐ R7.3.8 " 新入居者歓迎会 はま寿司 			
課題に対する評価	<p>○各相談支援専門員や病院のケースワーカーなどとの関係の構築を行うことにより入居に向けた相談が増えた。しかし、年々高齢者や重度なケースが多くなっている。</p> <p>○他事業所の利用者の入居が目的なケースが多く、こころんでの日中活動につながりにくい。</p> <p>○防災訓練ではメンバーの得手不得手に着目し連絡や誘導、確認などの技術向上を目指した。</p> <p>○余暇活動は合同で行い、共通の楽しみ、生活の張り合いとなっている。</p>			

事業所名	こころんヘルパーステーション			
利用定員(人)	20人	登録者	家事援助	8人
			身体介護	2人
			通院介助	14人
			移動支援	0人
令和6年度の事業の内容	<p>*サービスの種類 (障がい者自立支援法に基づく支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体介護 身体的な介助を必要とする方の入浴や生活の援助 ・家事援助 掃除・食事作り等 日常生活をする上で必要なサービスの提供 ・通院介護 通院の同行 ・通所施設への送迎 ・移動支援 <p>*関係機関との連絡調整</p> <p>*支援計画の作成</p>			
令和6年度の事業の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活の在り方についての多様化に出来る限り柔軟に対応し、利用者の自己実現に寄り添う支援が出来た。 ・受診前の連絡、通院介助、受診同行することにより、体調の変化や生活状況を医療機関や行政機関に伝え、連携をとることが出来た。 ・人員不足から事業の休止も考えているが、地域のヘルパー事業所やヘルパーの減少によりニーズが増えている。 ・精神障害に対応できる事業所が少なく、困難事例の依頼が多い。 ・次年度の報酬改定に対応するため、グループホームで障害区分のついていない利用者について各市町村に問い合わせ、順次認定調査の依頼、区分申請をした。このことにより、ヘルパー利用での通院介助が今後も増える見込み。 ・グループラインにて連絡事項を周知し合い、リアルタイムで情報共有している。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームとヘルパーの兼務により、両方の業務が重なると、グループホームがワンオペになりがちで突発的な対応が困難。 			

事業所名	こころんファーム																														
受入れ可能人数	15名	利用登録者数	6名																												
事業の目的	<p>就労支援B・・・農作業を通して、規則正しい生活習慣（睡眠、食事）を改善・維持する。また、ケアプランをもとに本人の適性にあった作業提供をし、強みを生かし、仕事に対して自信と責任を持たせる支援をする。</p> <p>就労移行支援・・・上記に加え、希望とする職業に就くための作業環境を提供し、就労訓練を具体的に行っていく。また、仕事面だけでなく、障害の理解や体調不良時の対処法、人間関係（挨拶・協調性・言葉遣い）について訓練し、精神的、経済的自立の意識を高める支援を行う。</p>																														
6年度の目標	売上目標	7,500,000円	目標工賃	45,000円																											
6年度の実績	売上実績	8,933,929円	平均工賃	45,832円																											
事業内容	<p>○無農薬・無化学肥料栽培（8品目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地面積 畑 24,757㎡ <li style="padding-left: 2em;">水田 11,800㎡ 計 36,557㎡ ・使用堆肥 木目澤ファーム 牛糞堆肥（泉崎） <li style="padding-left: 2em;">ここたまファーム 鶏糞堆肥（白河市） ・販路 こころや、リオンドール、ヨークベニマル、JA 夢みなみ、宮田運輸（米）、神戸パイオニア（菊芋）、個人発送等 <p>○施設外就労提携先</p> <ul style="list-style-type: none"> 【草刈り請負】1社 (株) 天乃屋 【農作業請負】2社 角田農園（トマトハウス片付け）、鈴木農園（大豆除草） <p>○収入内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. こころや</td> <td style="width: 25%;">492,078円</td> <td style="width: 25%;">(昨年度 514,422円)</td> </tr> <tr> <td>2. リオンドール</td> <td>240,419円</td> <td>(昨年度 231,716円)</td> </tr> <tr> <td>3. ヨークベニマル</td> <td>2,606,677円</td> <td>(昨年度 3,705,902円)</td> </tr> <tr> <td>4. 施設外就労</td> <td>826,760円</td> <td>(昨年度 1,463,381円)</td> </tr> <tr> <td>5. 発送</td> <td>2,823,376円</td> <td>(昨年度 1,437,064円)</td> </tr> <tr> <td>6. JA 夢みなみ</td> <td>728,520円</td> <td>(昨年度 982,790円) 円</td> </tr> <tr> <td>7. イベント</td> <td>160,680円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. ここたま外販</td> <td>203,606円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. その他（助成金含む）</td> <td>851,813円</td> <td></td> </tr> </table>				1. こころや	492,078円	(昨年度 514,422円)	2. リオンドール	240,419円	(昨年度 231,716円)	3. ヨークベニマル	2,606,677円	(昨年度 3,705,902円)	4. 施設外就労	826,760円	(昨年度 1,463,381円)	5. 発送	2,823,376円	(昨年度 1,437,064円)	6. JA 夢みなみ	728,520円	(昨年度 982,790円) 円	7. イベント	160,680円		8. ここたま外販	203,606円		9. その他（助成金含む）	851,813円	
1. こころや	492,078円	(昨年度 514,422円)																													
2. リオンドール	240,419円	(昨年度 231,716円)																													
3. ヨークベニマル	2,606,677円	(昨年度 3,705,902円)																													
4. 施設外就労	826,760円	(昨年度 1,463,381円)																													
5. 発送	2,823,376円	(昨年度 1,437,064円)																													
6. JA 夢みなみ	728,520円	(昨年度 982,790円) 円																													
7. イベント	160,680円																														
8. ここたま外販	203,606円																														
9. その他（助成金含む）	851,813円																														

<p>評価</p>	<p>○全体評価</p> <p>主品目 5 品（水稲、スナップエンドウ、オクラ、玉ねぎ、菊芋）と副品目 3 品の計 8 品目で作付け計画を立てた。端境期は援農や草刈りなどの施設外就労を組み合わせ、年間を通した農作業の提供がいよいよ定着してきた。</p> <p>販路は、前年同様ヨークベニマルを中心に、JA 夢みなみ、リオンドール、こころやに振り分出荷を試みた。特に、ベニマルについては、矢吹店舗に持っていくと県中 47 店舗に配送、陳列、売り切りなどが強みである。売り場マネジメント能力はさすが大手といえる。手数料は 30% とやや高めではあるが、商品管理と納品時の人件費、燃料費を考えると問題ない。</p> <p>米の 50a 増産に伴う、関西発送については宮田運輸を窓口とした大阪界隈の運送業者の社員様誕生日プレゼントが盛況であり、前年比 150% で約 140 万円の増収となった。神戸パイオニア福祉事業所との菊芋原料発送は、例年通り円滑な信頼関係のもと異常はない。</p> <p>売り上げ全体では、目標対比で 119% となり 143 万円の増益となった。人手が減少する中、職員、利用者共に実に奮闘した。特に、スナップエンドウやオクラの農繁期には、他部署と連携し、早出や休日出勤にて集中的に収穫出荷にあたった。他部署の応援があったからこそ乗り越えることができたといえる。</p> <p>利用者の人数が令和 6 年度終了時 6 名となり、次年度の作付け量、生産調整は必須だが、今後も、利用者の増減があっても、技術の蓄積を強固なものにして、支援体制が揺るがないようにしていく方針である。</p> <p>○令和 6 年度達成事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房完備の休憩・出荷コンテナの設置完了（こころや横）。その他イベントでも利活用が期待でき、感謝祭時は、出展者の休憩・準備スペースとしても活躍中。
	<p>未達成課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械の老朽化に伴う修理が多くなっている（トラクターや田植え機のオイル漏れ）購入となると 100 万単位なので、度々直して使ってはいるが、古い機械のため、いずれは購入も検討しなければならない。

事業所名	こころんファーム養鶏場 ここたま																																																								
受入れ可能人数	5 名	利用登録者数	3 名																																																						
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の恵みを生かした循環型農業を取り入れ、アニマルウェルフェアに対応した飼育環境のもと安全安心な国産畜産物を生産する ・働き甲斐のある就労、生き甲斐のある生活を通して利用者の自己実現を図る 																																																								
令和 6 年度 の目標	売上	10,500,000 円	平均工賃 13,888 円																																																						
令和 6 年度 の実績	売上	11,546,596 円 (昨年 11,105,571 円)	平均工賃 18,133 円 (昨年 16,379 円)																																																						
事業内容	<p>飼育に関すること</p> <p>5 月 401 羽 導入 7 月 380 羽 廃鶏 10 月 401 羽 導入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 6 年度</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間生産実績</td> <td>15.5 t</td> <td>14.4 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>販売に関すること</p> <p>11 月 農福マルシェin千葉に出店（ふくしまプライド助成金を活用） 1 月 ノウクフェスタ上野に出店（ふくしまプライド助成金を活用）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な売上先</th> <th>売上額</th> <th>前年度</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ここたま店舗</td> <td>2,351,921 円</td> <td>2,099,608 円</td> <td>252313 円</td> </tr> <tr> <td>移動販売</td> <td>2,531,573 円</td> <td>2,708,012 円</td> <td>▼176439 円</td> </tr> <tr> <td>こころや</td> <td>2,513,861 円</td> <td>2,290,053 円</td> <td>223808 円</td> </tr> <tr> <td>り菜あん</td> <td>765,885 円</td> <td>604,231 円</td> <td>161654 円</td> </tr> <tr> <td>まるごと西郷館</td> <td>920,456 円</td> <td>709,215 円</td> <td>211241 円</td> </tr> <tr> <td>道の駅ふくしま</td> <td>404,789 円</td> <td>600,540 円</td> <td>▼195751</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設外就労(農事組合法人ひかり)に関すること</p> <p>3 月 31 日現在 登録メンバー3 名（他部署との兼任利用を含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 6 年度</th> <th>前年度</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売 上</td> <td>795,295 円</td> <td>868,578 円</td> <td>▼73,283 円</td> </tr> <tr> <td>延べ日数</td> <td>149 日</td> <td>148 日</td> <td>1 日</td> </tr> <tr> <td>延べ時間</td> <td>782 時間</td> <td>954.25 時間</td> <td>▼172.25 時間</td> </tr> <tr> <td>メンバー数</td> <td>5 人</td> <td>13 人</td> <td>▼8 人</td> </tr> </tbody> </table>				令和 6 年度	前年度	年間生産実績	15.5 t	14.4 t	主な売上先	売上額	前年度	前年比	ここたま店舗	2,351,921 円	2,099,608 円	252313 円	移動販売	2,531,573 円	2,708,012 円	▼176439 円	こころや	2,513,861 円	2,290,053 円	223808 円	り菜あん	765,885 円	604,231 円	161654 円	まるごと西郷館	920,456 円	709,215 円	211241 円	道の駅ふくしま	404,789 円	600,540 円	▼195751		R 6 年度	前年度	前年比	売 上	795,295 円	868,578 円	▼73,283 円	延べ日数	149 日	148 日	1 日	延べ時間	782 時間	954.25 時間	▼172.25 時間	メンバー数	5 人	13 人	▼8 人
	令和 6 年度	前年度																																																							
年間生産実績	15.5 t	14.4 t																																																							
主な売上先	売上額	前年度	前年比																																																						
ここたま店舗	2,351,921 円	2,099,608 円	252313 円																																																						
移動販売	2,531,573 円	2,708,012 円	▼176439 円																																																						
こころや	2,513,861 円	2,290,053 円	223808 円																																																						
り菜あん	765,885 円	604,231 円	161654 円																																																						
まるごと西郷館	920,456 円	709,215 円	211241 円																																																						
道の駅ふくしま	404,789 円	600,540 円	▼195751																																																						
	R 6 年度	前年度	前年比																																																						
売 上	795,295 円	868,578 円	▼73,283 円																																																						
延べ日数	149 日	148 日	1 日																																																						
延べ時間	782 時間	954.25 時間	▼172.25 時間																																																						
メンバー数	5 人	13 人	▼8 人																																																						
課題に対する 評価	<p>販売に関すること</p> <p>飼育ローテーションの関係上卵が少なくなる時期があり、店舗販売やこころやで一部商品の販売停止をせざるを得なかった。</p> <p>利用者支援に関すること</p> <p>利用者の着実な成長が見えるが、利用者数こそ増えてはいない。</p>																																																								

事業所名	なごみの家			
利用定員	B型：10名 センター10名	利用登録者数	9名（B型：7名、センター：2名）	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力と個性に応じた支援を行い、生活経験の拡大や社会参加 possible の向上を図る ・生産活動を通じて生きがいを持てるように支援する ・支えあう仲間作り・気軽に安心して利用できる居場所をめざす 			
令和6年度の目標	売上	2,750,000円 (前年度：3,200,000円)	平均工賃	30,000円 (前年度：30,000円)
令和6年度の実績	売上	2,140,885円 (前年度：2,279,340円)	平均工賃	21,523円 (前年度：21,700円)
事業内容	<p>① 内職受注先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコー電機(株) <ul style="list-style-type: none"> ・ポストイット頭出し ・ポストイット裏面への専用器具によるテープ貼り ・ポストイット商品袋へのバーコードシール貼り ・本棚ストッパーのお入れ箱の組み立て ・(株)仲野電機製作所 <ul style="list-style-type: none"> ・電子部品コードの差し込み、組み立て作業 ・(株)村上 <ul style="list-style-type: none"> ・紙袋の制作作業 <p>② 内部ランチ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事提供により生活の安定・健康促進を目指す ・献立の作成により、利用者、スタッフからの予約注文 <p>③ 余暇活動として白河城山公園にてお花見。 ボランティアとの交流は中止、なごみ内での食事会に変更。</p> <p>④ 支援学校3年生の直Bアセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころん就業支援センターと連携して実施 			
評価	<p>今期は昨年に続き内職受注先の主体であるエコー電気様からの上半期の受注量が安定せず、その他の受注先から内職を増やして頂き、利用者の作業時間を賄う事が出来ましたが、個々の適正に合う作業を創るのに苦労した一年でもありました。利用者の全体就業時間も増えてきている事もあり、来期も受注量の変動を想定し、営業売上、利用者の方の作業量、作業内容の確保が課題とされます。</p> <p>利用者支援に関しましては、個別支援計画に基づき適切な支援をつとめられており、心身共に安定した働き場所を提供することが出来ましたが、現存利用者の年齢の幅や障がい特性、利用目的の違いや、支援学校実習生の招致、今後の利用者の増員を考えると、建物の老朽化やスペースの狭さ、契約の問題も含めて移転の必要性があると考えられます。</p>			

事業所名	こころん工房																																		
受入可能人数	10 名	利用登録者数	9名(移行2名、B型:7名)																																
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・就労を通して自己実現を図り、生きる喜びや働く楽しさを味わう ・生き甲斐のある生活、働きがいのある就労を実現させる 																																		
令和6年度の目標	売上	5,500,000円 (前年度:5,900,000円)	平均工賃 28,000円 (前年度:31,000円)																																
令和6年度の実績	売上	5,354,644円 (前年度:5,530,020円)	平均工賃 26,952円 (前年度:26,425円)																																
事業内容	<p>○利用者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援学校より受入。4月から1名移行支援利用開始。 ・1名が就労継続B型から就労移行に変更。 <p>○生産体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に合わせた作業を準備し、作業の幅を徐々に広げることができた。 ・既存商品の製造工程及び手順を再確認し、品質向上を図った。 ・スタッフが新体制になったため、作業内容や各種イベント等生産体制の見直しを図った。 ・原材料・資材等の高騰により、全販売商品の原価計算の見直しをする準備を進めた。 ・大型機器の経年劣化に対する保守点検をし、機器の入れ替え等の検討をした。 <p>○衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月、10月に腸内細菌検査を行った。 ・毎週金曜日、午後に清掃の時間を設け、器具や備品等の衛生管理に徹底した。 ・アリの大量発生対策のため、防虫剤を早目に使用するなどの工夫をした。 <p>○主な売上内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取引先</th> <th>今年度年間売上</th> <th>昨年度年間売上</th> <th>昨年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころや</td> <td>1,705,671円</td> <td>2,024,054円</td> <td>-318,383円</td> </tr> <tr> <td>り菜あん</td> <td>250,241円</td> <td>298,956円</td> <td>-48,715円</td> </tr> <tr> <td>まるごと西郷館</td> <td>454,657円</td> <td>437,529円</td> <td>17,128円</td> </tr> <tr> <td>喫茶小路</td> <td>170,799円</td> <td>183,341円</td> <td>-12,542円</td> </tr> <tr> <td>森林ノ牧場</td> <td>408,898円</td> <td>484,638円</td> <td>-75,740円</td> </tr> <tr> <td>白河厚生病院</td> <td>176,999円</td> <td>233,306円</td> <td>-56,307円</td> </tr> <tr> <td>注文、社内販売</td> <td>2,187,379円</td> <td>1,633,729円</td> <td>553,650円</td> </tr> </tbody> </table>			取引先	今年度年間売上	昨年度年間売上	昨年比	こころや	1,705,671円	2,024,054円	-318,383円	り菜あん	250,241円	298,956円	-48,715円	まるごと西郷館	454,657円	437,529円	17,128円	喫茶小路	170,799円	183,341円	-12,542円	森林ノ牧場	408,898円	484,638円	-75,740円	白河厚生病院	176,999円	233,306円	-56,307円	注文、社内販売	2,187,379円	1,633,729円	553,650円
取引先	今年度年間売上	昨年度年間売上	昨年比																																
こころや	1,705,671円	2,024,054円	-318,383円																																
り菜あん	250,241円	298,956円	-48,715円																																
まるごと西郷館	454,657円	437,529円	17,128円																																
喫茶小路	170,799円	183,341円	-12,542円																																
森林ノ牧場	408,898円	484,638円	-75,740円																																
白河厚生病院	176,999円	233,306円	-56,307円																																
注文、社内販売	2,187,379円	1,633,729円	553,650円																																
課題に退する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労を目指す利用者には社会性を軸とした支援をし、B型での施設就労を望む利用者には本人の主体性や作業への責任感を育む支援を行ってきた。今後も一般就労者の輩出と新規利用者の受け入れが循環する流れを継続していきたい。 ・冷蔵庫や真空装機などの大型機器の点検を行い、入れ替えが必要なものに対しては見積もりを取るなど進めた。 ・材料費等の高騰が続くが、商品の原価計算や価格改定には至っていない。 																																		

事業所名	直売・カフェ ころや			
受入可能人数	10名程度	利用登録者数	10名(継続B型8名、移行2名)	
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会参加型の就労訓練所の機能を活かし働くことを通じて社会性の向上や障がいの回復を目指していく。 2. 安心安全の『食』の提供を通じて、お客様や地域の方々信頼を築く事で利用者がお客様や生産者など地域の方々と触合い社会性を育める場所を継続発展させる事で関わりあう人々の生活の質の向上に貢献する。 			
令和6年度の目標	売上	64,000,000円 (前年度：73,000,000円)	平均工賃	.30,000円 (前年度：42,000円)
令和6年度の実績	売上	60,718,196円 (前年度：61,529,678円)	平均工賃	32,420円 (前年度：36,097円)
事業内容と評価	<p>《 事業目標 》 年間営業売上は60,718千円、事業目標に対して達成率94.8%、前年売上比98.7%と、目標・前年比ともに未達成となった。 「スイーツフェア」等のミニイベントを開催して集客に努め、秋の感謝祭では過去最高の売上を達成した。しかし通常営業日の来店客数や売上を伸ばすことにつながらなかった。</p> <p>《事業内容に関する評価》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 集客・販売の促進。⇒計画していた顧客アンケートは未実施。季節や行事を意識した売場作りに努めたが、商品(特に主力である野菜や果物)の充実には遠く、需要に対応できない時期や入荷物に偏りがあった。 入荷が多すぎた野菜はカフェの仕込みに使うなど、有効活用に努めた。 2. カフェ部門の充実と売上の向上 ⇒パスタランチなど新たなメニューに取り組んだが、年間売上は7,611千円で前年(8,469千円)比89.9%にとどまった。 同時期に2名の職員が退職。やむを得ず12月から火曜日を定休日にした影響が大きい。定休の火曜日は来店客数が激減し、店全体の売上低下の要因となっている。 3. SNS等を活用した販売および来店の促進。 ⇒新設したSNSで店舗情報を不定期配信。助成金を活用したキャンペーンを実施することで、フォロワー数は少しずつ増加している。電子決済の導入は次年度に持ち越した。 4. 新規利用者の獲得 ⇒上期に2名が就職したが、新規利用者が1名、体験中が3名に増え、今後も増員を目指している。 5. 利用者支援の強化 ⇒利用者の生活環境や体調の変化に合わせて、家族や医療機関と連携して対応にあたった。 			
課題に対する評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 店舗の老朽化への対応。⇒4月に天井据え付け型エアコンを交換。その他は見積もり中で次年度に実施予定。(屋外保冷庫、ガス台の部品交換等) 2. 材料費、資材費、卸値高騰⇒仕入れ値があがった商品は値上げで対応。カフェメニューは令和7年5月より値上げを実施。 3. 移動販売先の増加⇒需要に応じてルートを変更したが、販売拠点数は増やせなかった。 4. お客様用駐車場の拡充。⇒8月にファームに新設したコンテナハウスの横を職員駐車場用に整地した結果、店舗の駐車台数が4台増やすことができた。 			

事業所名	こころん就業支援センター（就労移行支援）		
利用定員	10名	利用登録者数	6名
事業の目的	障害者総合支援法の理念に基づき、地域で生活している障がい者に対し、一般就労に向けて必要な訓練、指導を実施する。就職後は半年間にわたり、職場定着支援を実施するとともに、希望する支援機関への移行を促進する。		
令和6年度の目標と実績	<p>① 就職者3名(移行支援:2名、継続支援:1名)⇒実績5名(移行支援3名、継続支援2名)</p> <p>1) 移行支援担当者+現場担当者でチーム支援を実施。⇒実践中。</p> <p>2) レクリエーション参加の機会を提供する。⇒センター事業のレクリエーションに参加。</p> <p>3) テクノアカデミー郡山と連携し、実習先企業を新規開拓する。⇒精神障がい者等向け訓練実施支援事業※1を受託3年目。新規企業開拓31社、実習実績4件。</p> <p>4) 中小企業同友会に入会し、地域企業との連携を強化する。⇒企業実習1件、講演会1回、講演会への資料展示1回、販売会への出店1回</p> <p>② ひとりひとりに合った職業や働き方を見極める機会の提供。</p> <p>1) 企業見学や実習の機会を提供する。⇒5社延べ7名が参加</p> <p>2) 施設外就労(ひかり)を通して、仕事内容や働き方の適正を見極める。⇒3名が参加</p> <p>③ 年度内に新規利用者数を5名以上増やす。⇒新規登録2名(うち1名はBからの移籍)</p> <p>1) 支援学校生や就業・生活支援センター紹介者の実習を積極的に受け入れる。 ⇒1校2名の実習とその他の紹介2名の体験を受入れ、4名全員が利用登録。 (うち3名は就労継続B型で登録)</p> <p>2) ホームページ上に就労支援の紹介と問い合わせ窓口を掲載する。⇒未実施</p> <p>3) 水郡線沿線および表郷地区への送迎を開始し、関係機関に周知する。⇒未実施</p> <p>④ 支援学校3年生の直Bアセスメントを担当する。⇒3校17名を担当。</p> <p>⑤ 就労選択支援事業※1開設に向けて情報収集、準備をする⇒就労部会で情報共有。</p> <p>⑥ 白河市内への移転・独立のための情報収集、準備をする。⇒賃貸物件を2件見学。</p>		
事業内容	<p>① 各施設での就労訓練の提供(こころや、ファーム、センター、工房)</p> <p>② 就業セミナーの開催(次頁参照)</p> <p>③ 企業内訓練の実施(ひかり)</p> <p>④ 職場開拓、就職活動の支援</p> <p>⑤ 特別支援学校の実習受け入れ(産業現場実習、直Bアセスメント)</p> <p>⑥ 就職後6か月の職場定着支援。(6か月以降は定着支援事業に移行)</p>		
課題に対する評価	<p>① 人員不足により、利用者確保のための活動ができない。⇒状況に変化なし。</p> <p>② 移行支援事業の独立にむけての専任者の増員。⇒未着手。</p> <p>③ 就労選択支援事業を実施するためには、受け入れる環境(広さや訓練プログラム)の改善が必要。⇒福島県として事業実施の標準化を図る計画があり、その動向を注視している。</p>		

※1 精神障がい者等向け訓練実施支援事業:福島県障がい者委託訓練事業における実践能力習得訓練コース(事業所を訓練実施場所として活用する公共職業訓練の一種)の受託企業の開拓や、訓練計画作成から実施までを、テクノアカデミー郡山と連携して行う。

※2 就労選択支援事業:障害のある人が希望や能力・適性に合った仕事探しや支援機関選びができるよう支援するサービス。令和6年の報酬改定で新設され、令和7年10月より実施予定。今後、就労継続支援を利用する際や移行支援の期間延長時は、就労選択支援サービスでアセスメントを受けることが条件になる。

事業所名	こころん就業支援センター（就労定着支援）		
利用定員	10名	利用登録者数	11名
事業の目的	障害者総合支援法の理念に基づき、地域の一般企業等で就労している障がい者に対し、必要な相談支援や雇用主への助言等を実施することにより、職場定着と自立した社会生活の助長を図ることを目的とする。		
令和6年度の目標と実績	<p>① 就職後3年間の職場定着率:8割を維持。⇒R5年度77%が72%に低下 定着支援サービス終了後3年間の職場定着率:7割以上。⇒63%に低下</p> <p>1) 職場訪問、施設利用、家庭訪問、メール、電話など、個々に合わせた相談方法に対応し、必要な支援を提供する。⇒実践中</p> <p>2) 利用者の勤務先のニーズを把握し、個々に合わせた支援を提供する。⇒ステップアップのための転職や、住所移転のための退職などの相談に応じている。</p> <p>3) 他機関とのケース会議を定期的に開催し、サービス終了後の支援体制を整える。⇒就労部会での協議の他、必要に応じて実施している。</p> <p>② 利用者の余暇活動の充実をはかる。</p> <p>1) 在職者交流会エキサイトを定期開催し、サービス終了後のフォローアップに活用する。</p> <p>2) コロナ等の感染に留意しつつ、参加しやすいプログラムを開催する。 ⇒独自の企画を実施できず、こころんのイベントを周知し、登録者同士の交流を促した。</p> <p>③ 登録者:10名</p> <p>1) 利用者に対し、就職活動中から定着支援のサービス内容を周知し、就職直後から利用開始時(就職後6か月)と同じ支援を提供する。⇒継続実施中。</p> <p>2) ジョブコーチ事業と定着支援サービスの有効性を企業に対して説明する。⇒実施中。</p> <p>④ 定着支援終了後も企業との関係を継続し、長期継続勤務や障がい者雇用の増員を働きかける。⇒過去の就職先に1名新規で採用された。</p> <p>⑤ 他施設からの就職者に対してサービス内容を告知し、利用者を獲得する。⇒未実施。</p> <p>⑥ 就労支援員として活動できる人材の育成。⇒増員はなく、兼任により活動時間の確保が難しい状況が続いている。担当職員の負担軽減のため、R7年度は委託訓練事業※2の受託を見送った。</p>		
事業内容	<p>① 月1回以上の本人との面談。(こころん・勤務先・家庭訪問)</p> <p>② 職場訪問または電話連絡により、勤務先担当者との状況確認。</p> <p>③ 在職者交流会の実施</p> <p>④ 就労相談日の設定。</p>		
課題に対する評価	<p>① 定着支援サービスを利用する利用者は順調に増えているが、支援に携われる人員が見込めない。⇒状況に変化なし。</p> <p>② 感染症の流行が落ち着かないこともあり、エキサイトでの飲食を伴う交流会ができず、皆が楽しめるようなイベントの幅が広がらない。⇒感染対策以前に、企画が立案・実施できる余裕がない。</p> <p>③ 企業及び利用者対応専用の携帯電話を所持する。⇒対応できる人数が限られているため、実施に踏み切れない。</p> <p>④ 関係機関へは周知しているものの、他施設からの就職者から定着支援サービス利用がない。⇒新規登録者に対応する余裕がなく、周知を控えている。</p>		

就業セミナー 令和6年度実績

就業セミナー		()は移行登録者
4月30日(火)	就労のためのチェックリスト	参加：12(2)
5月28日(火)	就労ピアカウンセリング「対話の練習 をしてみよう」	参加：10(2)
6月24日(月)	外部講師「防犯」 ころん合同企画	参加：25(3)
7月23日(火)	就労ピアカウンセリング「ワークライフバランス」	参加：9(3)
9月17日(火)	ナビゲーションブックを作ろう	参加：6(3)
10月22日(火)	企業見学「工場の仕事を知ろう」	参加：8(3)
11月26日(火)	就職に向けての勉強会	参加：9(3)
1月28日(火)	未来予想図2025（長期目標をたてる）	参加：8(3)
2月25日(火)	働くために必要なこと「自分の強みを知ろう」	参加：9(2)
3月25日(火)	働くために必要なこと「チェックリストの活用」	参加：8(2)
リフレッシュプログラム 活動センターと共催		()は移行登録者
4月10日(水)	お花見「公園散策をしよう」	参加：18(1)
7月15日(月)	スイーツフェア「交流を深めましょう」	参加：15(2)
中小企業家同友会主催企画		
7月19日	ランチ例会にてころんの取り組みを発表	会員19名出席
9月21日(土)	つながるマルシェに出店	来場327名
9月21日(土)	オープン例会にて施設商品や資料の展示	会員等31名出席

就労定着支援活動 令和6年度実績

ころん在職者交流会「エキサイト」		()は定着登録者
7月21日(祝)	「夏のスイーツフェア」 会場：直売・カフェころんや	在職者：4(1)
9月21日(土)	「つながるマルシェ」 会場：メガステージ白河 イベントスペース	在職者：2(2)
10月13日(日)	「ころん感謝祭」 会場：直売・カフェころんや	在職者：6(4)
11月16日(土)	「ころんチャリティーアート展」 会場：生活支援センターころん	在職者：5(3)